

市民が主役のまちづくりをさらに進めるために 平成25年度 市政懇談会の報告



市は「留萌まるごと体験・体感物語」をテーマに、平成25年度の市政懇談会を平成25年11月23日(土)留萌産業会館において、町内会役員など市民67人の参加をいただき開催しました。市からの報告と皆さんからいただいた意見を紹介します。

市政懇談会の目的

市政懇談会は、市民の皆さんとさまざまな分野において「新・協働時代」のもとに「留萌力」を育て、未来に向けて子どもたちの笑顔、絆、夢を実現させる留萌を目指すため、多くの市民の皆さんから意見をお聞きし、また、情報の共有を進めることを目的に毎年開催しています。

市政懇談会のテーマと市からの報告

- (1) 新・留萌市財政健全化計画について (総務部)
- (2) 市立病院が進めようとしている医師確保対策 (病院事務部)
- (3) 留萌まるごと体験・体感物語(観光編)について (地域振興部)
- (4) 元気な農業・漁業について (地域振興部)
- (5) ごみ収集について (都市環境部)

市立病院の経営の黒字化と常勤医師の増員、医師確保の現状と課題、実習生などの受け入れ状況、新しい施設(地域医療教育センター(仮称))の建設による将来の固定医確保の対策などについて報告しました。

目のコホート研究事業、高齢者を見守り支えるための地域リスク介入研究推進事業、地域医療充実のための医療人材交流拠点形成事業などについて報告しました。



東京都や札幌市、旭川市などで留萌の水産加工品や南もい米など、留萌の食のPR・販売を行った物産展への参加などについて報告しました。

市内の農家および漁家の推移、ルロツン乾燥パスタの製造販売、オールもい産切干大根の製造、大阪梅田生花市場での留萌物産展の開催、カキ養殖試験などについて報告しました。

クリーンステーションの整備計画、一般廃棄物最終処分施設建設工事の進捗よく状況、ごみ分別の精度

を上げるために行った排出ごみの分別状況の確認作業などについて報告しました。

(6) 今年の除排雪計画について

(都市環境部)

近年の気象状況および運搬排雪量の推移、除雪出勤基準や作業時間帯、市民雪捨て場などの除雪計画、ダンプロックや融雪機の無料貸し出し制度の利用件数などについて報告しました。

多くの意見などをいただいたグループ別意見交換

市からの報告に続き、参加者は8つの班に分かれグループ別意見交換を行いました。主な意見などは下記をご覧ください。



グループ別意見交換から

※多くの意見などの中から一部をご紹介します。

●除排雪について

◆公園の雪捨て場は便利だが、重機などで雪を積み上げる住民がいるため、ママさんダンプで捨てられなくなり住民トラブルとなる。「除雪機やショベルの積み上げは禁止」の看板を立ててほしい。

◆平成25年1月の大雪の際に町内の状況を市へ電話したが、対応者がいなかった。状況に合わせた職員配置を行ってほしい。



●ごみ分別について

◆クリーンステーションの交換計画を広報誌で周知してほしい。

◆ごみの分別方法を定める際に、市民の意見を聞かずに決めているように感じる。

◆ごみ分別のDVDが分かりやすいので、資源化率を上げるためにも積極的に周知してほしい。また、町内会への貸し出しも行ってほしい。



●温水プール「ぶるも」について

◆温水プール「ぶるも」の一部再開は、どんなに工夫しても経費が掛かるので、プール使用料を無料とすると、かなりの負担増となるのではないかと懸念している。

◆子どもたち以外にも利用できるようにしてほしい。



●るもい健康の駅について

◆るもい健康の駅を利用する際に利用料が無料なのか、有料なのかを分かりやすく広報してほしい。



●その他

- ◆三泊のゴルフ場の活用を図ってほしい。
- ◆礼受牧場をスノーモービルのコースとして開放してほしい。
- ◆船場公園や三泊緑地の整備は本当に必要なのか。管理棟などを建設することを考えると、もっとコミュニティセンターの管理費などに予算を回すことができると思う。

市では、今後も市民の皆さんとの対話を大切に、皆さんからいただいた貴重な意見や要望を市政の参考にし、市民が主役のまちづくりをさらに進めていきます。